

Campsite information in Akita Prefecture

AKITA de CAMP

さあ、自然を感じよう。
秋田を遊ぼう。

県内12の自然公園・自然ふれあいエリア

18のキャンプ場情報を紹介！

TAKE FREE

AKITA de CAMP

秋田県内自然公園・キャンプ場MAP



※キャンプ場の利用料金は2021年(令和3年)4月現在のものです。利用方法によって料金が異なりますので、各キャンプ場にご確認ください。

※釣りをするときには遊漁券が必要となる場合がありますので、キャンプ場の管理者にご確認ください。

※QRコードから動画が再生されないときは、秋田県公式YouTube「WebTVあきた」からご覧ください。



INDEX

01	太平山県立自然公園	03	08	森吉山県立自然公園	19
	太平山リゾート公園オートキャンプ場(西・東)	04		奥森吉青少年野外活動基地親子キャンプ場	20
	太平山リゾート公園キャンプ場	05	09	田沢湖抱返り県立自然公園	21
	萩形キャンプ場	06		田沢湖キャンプ場	22
02	秋田県環境と文化のむら	07		田沢湖オートキャンプ場縄文の森たざわこ	23
				かたまえ山森林公園	24
03	男鹿国定公園	09	10	栗駒国定公園	25
	なまはげオートキャンプ場	10		とことん山キャンプ場	26
04	きみまち阪県立自然公園	11		須川湖キャンプ場	27
	きみまち阪キャンプ場	12	11	真木真昼県立自然公園	28
05	八森岩館県立自然公園	13	12	鳥海国定公園	29
	御所の台オートキャンプ場	14		法体園地キャンプ場	30
06	秋田白神県立自然公園	15		祓川キャンプ場	31
	素波里園地キャンプ場	16		大清水園地キャンプ場	32
07	田代岳県立自然公園	17		三崎公園キャンプ場	33
	正しく恐れて、楽しいキャンプを!	18		お役立ちTips!!	34

アイコンの 説明



初心者・親子に
優しい



トイレ



貸し出し
テント



オートサイト



近場
買い物・食事



近場温泉



ロッジ・
バンガロー



登山



釣り



📍 秋田市・五城目町・上小阿仁村

秋田市の奥にどっしりとたたずむ「太平洋」。主峰は標高1,170メートル。馬場目岳・赤倉岳・白子森など1,000メートル級の峰が連なります。

その美しい稜線は、五城目町・上小阿仁村の3市町村にまたがり、多くの河川や滝の源となっています。多くの景勝地を生み出す、まるで母のような山です。

ただその表情とは別に、古くから信仰の地としても知られている山でもあります。登山道のかたわらには多くの石仏が残されていて、神々しい山として厳粛な雰囲気漂わせます。山頂から見渡せば、日本海や男鹿半島、鳥海山や森吉山など秋田の絶景を一望できます。



周辺施設情報



クアドーム サ・ブーン
(プール・温泉)



旭川ダム公園



グリーンパル
(グラウンド・ゴルフ場)



太平山リゾート公園オートキャンプ場(西側・東側)



動画で見る



太平山リゾート公園には、車で乗り入れることができる本格的なオートキャンプ場が整備されています。東側と西側でそれぞれ15区画以上のサイトがあり、ゆったりとキャンプを楽しむことができます。

また、公園内には一年中温泉とプールが楽しめる「クアドーム ザ・ブーン」があり、キャンパーは割引も受けられます。

アウトドアを思う存分楽しんだ後は、温泉やサウナでゆったり。家族みんなに嬉しいレジャースポットです。



INFORMATION

📍 秋田県秋田市仁別小水沢

☎ 018-827-2270 (太平山リゾート公園総合案内所)

💰 1泊・1区画 2,155円 など

📅 4月15日～10月31日

💻 <http://www.theboon.net/park/index.html>



太平山リゾート公園キャンプ場



動画で見る



太平山は秋田市民からも広く親しまれ、レジャーの一大拠点となっています。公園周辺にはウォーキングルートが整備され、大自然のきれいな空気の中で、さまざまなアウトドアが楽しめます。紅葉シーズンには「旭川ダム公園」がオススメ。眼前を埋め尽くす真っ赤なヤマモミジを求めて数多くの観光客が訪れます。

太平山リゾート公園の中心部には20張分の無料テントサイトが広がります。市街からのアクセスは抜群で、キャンパー達の交流の場にもなっています。

電源付きのバンガロー(要予約)や、共同炊事場、水洗トイレも完備。



INFORMATION

📍 秋田県秋田市仁別小水沢

☎ 018-827-2270 (太平山リゾート公園総合案内所)

🆓 無料

📅 4月15日～10月31日

💻 <http://www.theboon.net/park/index.html>



萩形キャンプ場



動画で見る



自然豊かな上小阿仁村の魅力を思う存分体験できる「萩形(はぎなり)キャンプ場」。隣には太平山を源流とする小阿仁川が流れます。

広いテントサイトが特徴でトイレ、炊事場を完備。バンガローも用意されているため、寝袋だけ持って泊まることもできます。

キャンプ場周辺は知る人ぞ知る渓流釣りの好ポイントで、釣り人の拠点としても人気です。

余計なものがなにもない大自然に囲まれて、身も心もリフレッシュしてみませんか。



INFORMATION

📍 秋田県北秋田郡上小阿仁村萩形 📞 0186-77-2223(上小阿仁村産業課)

💰 1日・1人 100円 📅 6月1日～10月31日

💻 <https://www.akitafan.com/archive/tourism/1871>



📍 五城目町

「環境と文化のむら」は自然とふれあい、里山の文化について学ぶことのできる県の施設です。

県内の野鳥について楽しく学べる「愛鳥山荘」や縄文時代以降の人々の暮らしを学ぶことができる「文化の館」が併設。このエリアは国の「野鳥の森」にも指定されていて、散策路を歩いていると、様々な鳥のさえずりを聞くことができます。

春はふきのとう・すみれが咲き、夏はやまゆり、秋になると熟したナツハゼやミツバアケビの実が見つかります。冬には越冬に向けた鳥や虫たちの様子が観察できることも。

「環境と文化のむら」で自然の中に溶け込み、人と自然のつながりを深めてみませんか。

※愛鳥山荘では、Wi-Fi環境を利用したリモートワークも可能です。



周辺施設情報



自然ふれあいセンター



大型商業施設



五城目町森林資料館
(五城目城)



環境と文化のむら



「環境と文化のむら」の中央には、キャンプを行うことができる芝生の「愛鳥広場」が広がっています。広場では無料で自由にテントを張ることができます。

近場に大型ショッピング施設もあるので家族や初心者でも気軽にアウトドアを楽しめます。

家族連れには「自然ふれあいセンター」でのクラフト体験がオススメ。予約が必要ですが、木やどんぐりを使った小物作りを体験することができます。

子供のわくわくがたくさん詰まった「環境と文化のむら」。町のすぐ隣でできる里山体験がここにはあります。



INFORMATION

📍 秋田県南秋田郡五城目町上樋口山田沢156-1 ☎ 018-852-2202(秋田県環境と文化のむら 自然ふれあいセンター)

🆓 無料

📅 通年

💻 <http://www.kankyoun-bunka.jp/>



📍 男鹿市

言わずと知れた、なまはげ伝説の息づく地、男鹿半島。その舞台には、日本海の荒波が作り出す奇岩や、火山活動が生み出した絶景が広がります。

男鹿国定公園は、寒風山、男鹿三山、男鹿半島の海岸部を主として、男鹿市の総面積の1/3となる広さを誇ります。

爆裂火口湖(マール)が連なる「男鹿目潟火山群」や、全山芝生の特異な山「寒風山」、落差30mの荒々しい海岸に灯台が映える「入道埼灯台」など、見どころはたっぷり。

なまはげにとどまらない男鹿の魅力をぜひ、体感してみてください。



周辺施設情報



入道埼



なまはげ館



男鹿温泉郷



なまはげオートキャンプ場



動画で見る



「なまはげ館」や「男鹿温泉郷」、爆裂火口湖を望む「八望台」やあじさい寺「雲昌寺」などなど、なまはげオートキャンプ場は、男鹿半島の観光スポットに囲まれた場所にあります。

キャンプ場では10ヘクタールもの広大なエリアで、のびのびとアウトドアを楽しむことができます。テントを持参しなくても、美しいコテージがありレンタル用品も充実しているので安心。徒歩3分の位置には温泉・サウナ・食堂があり、連泊でも快適に過ごせます。

ここを拠点に、1日では回りきれない男鹿半島散策へと繰り出してみたいいかがでしょうか。



INFORMATION

📍 秋田県男鹿市北浦北浦字平岱山地内

☎ 0185-22-5030 (なまはげオートキャンプ場)

💰 1泊・テントサイト 4,180円 など

📅 テントサイト: 4月上旬～11月下旬 コテージ: 通年

💻 <https://www.namahage.co.jp/camp/>



📍 能代市

きみまち阪公園は、能代市二ツ井町にある自然公園。この地を訪れた明治天皇がその美しさに感動され「倭后阪(きみまちざか)」と命名されました。

県内有数の桜やツツジ、紅葉の名所で、時期ともなれば県内外から観光客が訪れます。公園には断崖絶壁の屏風岩がそびえ立ち、往時の陰しさを物語っています。きみまち阪から見渡すと眼下に米代川が流れ、奥に七座山(ななくらさん)が鎮座する絶好のビュースポットとなっています。

公園内には恋の願いが叶うと言われている恋文神社、恋文ポスト、きみまちの鐘がありカップルにも人気のスポットです。四季折々の風景を見せるきみまち阪へ、大切な人と訪れてみてはいかがでしょうか。



周辺施設情報



きみまち阪公園



道の駅ふたつ



きみまち阪キャンプ場



動画で見る



夫婦が寄り添うように鎮座する夫婦岩を抜けて細道を進むと現れてくる「きみまち阪キャンプ場」。

テント20張分ほどの空間が広がります。炊事場やかまど・トイレを完備し、利用料は無料。

山頂付近のキャンプ場の東屋からは雄大な米代川と七座山を望むことができます。

観光名所の頂上でのキャンプはちょっぴり贅沢な気分にさせてくれます。静かな木陰で非日常をゆったりと過ごしてみませんか。



INFORMATION

📍 秋田県能代市二ツ井町小繁字湯ノ沢 📞 0185-73-5300 (能代市建設課)

🆓 無料 📅 4月中旬～11月末

💻 <https://www.akitafan.com/archive/tourism/1875>



📍 八峰町

八森岩館県立自然公園は海岸線から沖合い1kmまでのエリアからなり、白神山地の西縁に位置します。魚介類が豊富なため、釣り客で賑わいます。

岩浜で、とても透き通った海が特徴の「滝の間海水浴場」と、砂浜を人工的に造成した「岩館海水浴場」があり、お好みに合わせて海水浴を楽しむことができます。

この地域の魅力は、なんと言っても夕陽。八森の美しい海岸線を前景に、日本海へと溶けていく夕日は見る者の心にしみ入ります。

真白な灯台が特徴の「チゴキ埼灯台」。日没の時間には、白い灯台と海岸線が朱く染まる壮大な光景に心奪われること間違いなしです。海を見下ろすことができる丘の上にある「鹿の浦展望所」では、朱く輝く水平線へと夕陽が沈むひとときをゆったり味わえます。



周辺施設情報



鹿の浦展望所



チゴキ埼灯台



八森いさりび温泉ハタハタ館



御所の台オートキャンプ場



動画で見る



秋田と青森の県境、東は白神山地、西は日本海に面した自然豊かな場所。そんな好立地にある「御所の台オートキャンプ場」。

オートサイト、フリーサイトそれぞれ約30区画のキャンプサイトを完備。水洗トイレの他、ランドリーやAC電源などの設備も充実しています。

キャンプ場には「あきた白神体験センター」と「八森いさりび温泉ハタハタ館」が隣接しているので、白神山地トレッキングやシーカヤックなどのアクティビティから、温泉・サウナに至るまで、ここでまるごと楽しむことができます。



INFORMATION

📍 秋田県山本郡八峰町八森御所の台30-1 📞 0185-77-2883(キャンプ場管理棟)

🌟 フリーサイト・1テント 1,000円 オートサイト・1区画 3,000円 など 📅 4月15日～10月14日

💻 <https://happouta.jp/home/>



📍 藤里町・八峰町

秋田県北西部、白神山地世界遺産地域に接する藤里町と八峰町に広がる自然公園。

白神山地特有の広大なブナ林や、白神山地を源流とするいくつもの滝や川、その渓谷群が広がります。

藤里町側には、藤里駒ヶ岳や小岳といった山々が連なり、白神山地を深く知ることのできるトレッキングコースとして人気があります。



八峰町には、白神山地を源とする真瀬川が流れ、三十釜、黒滝などの美しい渓谷を観察することができます。

それぞれの町には自然公園の玄関口に「白神山地世界遺産センター(藤里館)」「八森ぶなっこランド」が設置されていて、白神山地の自然について学ぶとともに活動拠点として使うことができます。

周辺施設情報



白神山地世界遺産センター
(藤里館)



峨瀾(がろう)の滝



八森ぶなっこランド



素波里園地キャンプ場



動画で見る



日本に4つしかない世界自然遺産の1つに登録されている白神山地。その目と鼻の先でアウトドアを楽しむことができるのが、ここ「素波里園地キャンプ場」。遺産地域を源流とする粕毛川の水を湛える素波里湖のほとり、素波里国民休養地の中にあります。

子供の楽しめる遊具や自転車広場、食堂などがあり、家族連れでも安心。素波里ふるさと自然公園センターにはWi-Fi設備があり、リモートワークにも対応。レストランでは藤里名物の貴重な羊肉“ホゲツト”も食べられます。

白神山地を感じる休養地で過ごすひとときは、贅沢そのものです。



INFORMATION

📍 秋田県山本郡藤里町粕毛字南鹿瀬内地内 📞 0185-79-1571 (素波里園地)

💰 1泊・1テント 600円 など 📅 4月下旬～11月上旬

💻 <https://www.town.fujisato.akita.jp/kankou/c62/601>



📍 大館市

田代岳は青森、秋田の県境近くに位置し、白神山地に属しています。田代岳をはじめとする山々を水源とする岩瀬川が流れ、五色湖へ注ぎ込みます。四季を五感で感じるこのできる大自然が特徴。

120個以降の池塘(ちとう)が広がる高層湿原では、多くの高山植物が咲き誇り、「雲上のアラスカ庭園」とも称されます。

「五色の滝」や「糸滝」も外せない見どころの一つ。どちらも手軽にトレッキングコースから見学することができ、登山者の癒やしとなっています。

五色湖のほとりに建つ「五色湖ロッジ」はこれら散策の拠点に持ってこい。利用期間は4月下旬から10月末まで。



周辺施設情報



五色湖ロッジ



五色の滝



糸滝



正しく恐れて、楽しいキャンプを!



クマがキャンプ場に興味を持たないようにしよう

ヒトの食べ物の美味しさは、クマにとっても大変魅力的です。残飯などを食べてその味を知ってしまったクマは、執拗に食べ物を狙うようになった結果、進んでヒトを襲うこともあります。

そういったクマが増えてしまわないよう、料理の残り物や生ゴミを、周辺にそのまま放置しないようにしましょう。「車の中」や「テント」内に保管する事で、においによってクマが引き寄せられる事を防ぎます。キャンプ場によってはゴミ捨て場が用意されていたり、管理棟に持っていくと有

料で回収してくれる場合もあるので、事前に確認しておくのも必要な準備の1つです。

食べ物を求めてヒトを襲う事を学習してしまったクマは、殺処分しなければなりません。そうしたクマを増やさないため、そして安全に楽しめるキャンプ場を作っていくために、私たち一人ひとりが、責任を持って行動するようにしましょう。

万が一、ゴミや食料をあさられた場合は、すぐにキャンプ場の管理者に知らせてください。



ゴミの放置禁止!



ヒトの存在をクマに知らせよう

クマが人を襲ってしまう理由の大半は「ヒトとばったり出会ってしまい、驚いてとっさに攻撃した」というパターンです。クマはヒトよりも優れた嗅覚や聴覚を持ちます。遠い距離のうちからヒトの気配を感じさせることで、あらかじめ接近を回避できます。

キャンプ場近くの山や森で薪を拾うような際は「複数人数で会話をしながら進む」「クマ避け

の鈴を身に着ける」「ラジオを流しておく」「手を叩いたりヤッホーと大声で叫ぶ」など、人の存在をアピールしましょう。

複数人での行動は特に効果が高く、クマ避け以外にも、不慮の事故でケガなどをした際にも対処がしやすくなります。また、雨や風の強い日など、音の聞こえづらいときは特に大きな音を立てるなど、注意しましょう。



音を出す



複数人で行動する



もしも出会ってしまったら...

夢中で薪を拾っていて、ふと見上げた時にもし目の前にクマがいたら……もしそうってしまった場合にどう対処すべきか、知識を事前に身に付けておきましょう。遭遇した時点で、おそらくクマ側もビックリしています。ここで急に逃げ出したり大声を出してしまうと、

① まずは止まる ② 後ずさりで離れる

パニックになって襲ってくる場合があります。そうならないために、まずは冷静に逃げ出したい気持ちを抑えましょう。慌てて逃げ出すとクマの本能が刺激され追いかけてくる事があります。その場で動きを止め、クマの方を見ながらゆっくり後ずさりして距離をとりましょう。





📍 北秋田市

「花の百名山」に数えられるほど植生の豊かな森吉山。新緑シーズンには多種多様な高山植物が咲き乱れ、秋になると広葉樹の森は鮮やかに色づき、冬には「日本三大樹氷」がそびえ立ち、四季折々訪れる人々を魅了してやみません。

南東麓の「奥阿仁」は、「立又渓谷」や「中の又渓谷」などの美しい渓谷と、「安の滝」を代表とする名瀑群で知られます。

北東麓の「奥森吉」には太平湖が広がり、遊覧船が秋田県の名勝天然記念物「小又峡」へと案内してくれます。奥森吉の中でも最も有名なものが「桃洞滝」。見る者を吸い込む美しさがあり、そこに居続けたいような神秘的な滝です。

美麗極まる森吉山の自然を、一度体験に来てみてはいかがでしょうか。



周辺施設情報



森吉山野生鳥獣センター



太平湖遊覧船



奥森吉青少年野外活動基地親子キャンプ場



動画で見る



大館能代空港から車で90分。「奥森吉青少年野外活動基地親子キャンプ場」は、人里離れた美しい大自然の中にあります。

テントなどの貸し出しサービスのほか、清潔な炊事場・トイレなどサニタリーは充実。学習会や研修会にも利用できる青少年野外活動センターをはじめ、草地在が広がる大展望所のほか、散策路も整備されています。

森吉山はクマゲラの住む森としても有名で、約4km離れた「森吉山野生鳥獣センター」では森吉山の豊かな生態系を学ぶことができます。



INFORMATION

📍 秋田県北秋田市森吉森吉山麓高原1

☎ 090-7064-7867 (青少年野外活動センター)

🔖 利用料: 無料 📅 6月1日～10月31日

💻 <https://ku-n.jp/katudoukiti/>



📍 仙北市

秋田県のほぼ中央部、秋田駒ヶ岳を望む田沢湖とその南、玉川が和賀山塊を刻んだ急峻な抱返り溪谷からなる自然公園。

田沢湖は、ほぼ円形でその周囲は約20km、水深は423.4mと日本一を誇ります。ここは龍へと姿を変えた辰子姫伝説の舞台。湖周辺には辰子姫ゆかりの地が点在し、市民から親しまれています。

田沢湖高原には、秋田駒ヶ岳の大斜面を生かした県内最大のスキー場が整備。全国に名だたる乳頭温泉郷を始め、1年を通じて観光地として賑わっています。

抱返り溪谷では両岸に垂直の岩壁がそびえ、回顧（みかえり）の滝をはじめとする大小の滝と、カエデ等の広葉樹とヒバ等の針葉樹からなる混交林の見事な眺めが楽しめます。



周辺施設情報



田沢湖クニマス未来館



たつこ像



田沢湖キャンプ場



動画で見る



日本一の水深を誇る「田沢湖」は、東北屈指のアクティビティスポットでもあります。サップやカヤックなど、楽しみ方いっぱい。ここ「田沢湖キャンプ場」では、アクティビティに精通したスタッフたちが常駐し、気軽にレイクレジャーを楽しむことができます。

キャンプ道具やBBQ、そして珍しいベルテントに至るまでレンタル品が充実していて、初心者でも安心。

花と森に囲まれた広いフリーサイトは身も心もリフレッシュさせてくれます。カヌーやサップを楽しんだあとの家族や仲間たちとのBBQは、一生の思い出になることでしょう。



INFORMATION

📍 秋田県仙北市田沢湖田沢春山152

☎ 0187-43-2990 (田沢湖キャンプ場)

🌸 施設利用料 450円 1泊・バンガロー 3,140円 など

📅 4月下旬～11月上旬

💻 <https://tazawako.net/>



田沢湖オートキャンプ場縄文の森たざわこ



動画で見る



湖の北東に位置する「田沢湖オートキャンプ場縄文の森たざわこ」。このあたりから約4千年前の集落跡や土器が発掘されたことから「縄文の森」と呼ばれています。

キャンプ場は、広大な芝生が特徴で、ひろびろとした空間でのびのびとキャンプが楽しめます。一般的なフリーサイトのみならず、キャンピングサイトやバイクサイト、バンガローなど、様々なスタイルに合わせた宿泊が可能です。

ドッグランも設けられていて、ペット連れにも安心。開放的な空間で、ゆっくりと羽根を伸ばせる、家族連れにおすすめのキャンプ場です。



INFORMATION

📍 秋田県仙北市田沢湖田沢潟前63-2

☎ 0187-58-0666 (田沢湖オートキャンプ場)

💰 大人(入場料) 500円 1泊・フリーサイト 2,200円 など

📅 4月下旬～11月上旬

💻 <http://joumon2.server-shared.com/>



かたまえ山森林公園



動画で見る



「かたまえ山森林公園」は田沢湖の南西に位置する公園施設。この公園の自慢は、なんと言っても高台から眺める景色。秋田駒ヶ岳と眼下に広がる田沢湖を一望することができます。

車の乗り入れラクラクなバンガローなど宿泊施設が充実。コテージにはベッド・シャワー・テレビ・キッチン・冷蔵庫が完備されていて、気軽に宿泊することができます。

公園の向かいには「むらっこ物産館」があり、四季折々の地元食材を楽しむことができます。

ここから目の前に広がる田沢湖を眺めれば、日常の疲れもリフレッシュできること間違いなしです。



INFORMATION

📍 秋田県仙北市西木町西明寺湯尻117

☎ 0187-47-2007 (かたまえ山森林公園管理棟)

💰 1泊・バンガロー 3,140円 など

📅 4月下旬～11月上旬

💻 <https://tazawako.net/>

※テント宿泊はできません



📍 湯沢市・東成瀬村

秋田県と、岩手、宮城、山形の4県にまたがる栗駒国定公園。有名な温泉地である湯沢市の「小安峡渓谷」、東成瀬村「須川温泉栗駒山荘」が公園内に含まれます。

紅葉の名所「栗駒山」周辺は、見渡す限りの広葉樹の森が広がります。秋になれば全山が色づき、「神の絨毯」とも称される圧巻の光景が広がります。

栗駒山頂上からは月山・鳥海山・蔵王・早池峰山を望むことができ、高山植物が見事な群生を作っていて多数の動植物の棲息地となっています。

「小安峡」はシンボリックな赤い鉄橋で有名な、湯けむりが年中立ち込める渓谷。勢いよく吹き出す「大噴湯」は一見の価値あります。



周辺施設情報



栗駒山産沼コース
(登山口)



須川温泉 栗駒山荘



とことん山キャンプ場



動画で見る



とことん山は春夏秋冬すべての季節をとことん楽しむことができる自然溢れるキャンプ場です。温泉観光地である小安峡渓谷のとなりに位置しています。

芝生や林間、オートキャンプ、バンガローなど、アウトドアファンの様々なニーズに応える設備が充実。場内には宿泊者なら無料で入浴できる源泉かけ流しの露天風呂も。

とことん山の特徴は、なんと言っても冬期間もオープンしていること。スノーキャンプが楽しめる数少ないキャンプ場として有名で、冬の豪雪地キャンピングをお目当てに県内外からファンが集います。



INFORMATION

📍 秋田県湯沢市皆瀬字新処106

☎ 0183-47-5241 (とことん山キャンプ場)

💰 料金1泊・大人 830円 など

📅 通年

💻 <https://tokotonyama.com/>



須川湖キャンプ場



動画で見る



広葉樹生い茂る栗駒山の中にぼつりと現れる標高1,030メートルの湖。その湖畔に須川湖キャンプ場があります。キャンプサイトが周囲に展開されているので水辺を眺めながら過ごすことができます。

キャンプ場周辺では、ボート遊び、高原・湿原散策、夜は満天の星空観賞など、奥地ならではの楽しみ方ができます。栗駒山登山口のすぐ近くに位置し、宿泊者は須川温泉「栗駒山荘」の割引が受けられるのも嬉しいポイント。

美しい景色と温かい温泉で身も心も癒やしてくれるキャンプ場です。



INFORMATION

📍 秋田県雄勝郡東成瀬村椿川字仁郷山国有林 📞 0182-47-5255 (須川湖キャンプ場管理棟)

💰 1泊・大人 440円 など

📅 6月1日～10月31日

💻 <https://higashinaruse-kanko.com/sightseeing-spot/2927/>



真木真昼県立自然公園



📍 大仙市・美郷町

真木真昼県立自然公園は、岩手県境の奥羽山脈、美郷町から大仙市へと南北約25kmにわたって広がる大自然郷。標高1,000～1,200メートルの山々がそびえ立ちます。

薬師岳山頂へ向かう真木溪谷、美しい滝がある川口溪谷は、絶好のハイキングコース。奥羽山脈らしい幾重もの尾根が続き、真木溪谷、川口溪谷では深いV字溪谷を楽しむことができます。



ここは「花の百名山」に選ばれるほど有名な高山植物の群落地。7月ごろになると薬師平一面にニッコウキスゲの黄色い花が咲き乱れます。

原始へとタイムスリップしたかのような世界が、あなたを待っています。

周辺施設情報



太田ふれあいの里



太田交流の森(大台スキー場)



📍 由利本荘市・にかほ市

鳥海国定公園は、日本海に接する鳥海山を中心とする秋田県と山形県の2県にまたがる自然公園。鳥海山の湛える豊かな水が無数の河川や滝、渓谷、湿原の絶景を作り出しています。

「獅子ヶ鼻湿原」は、国指定天然記念物に選ばれています。独特な形をしたブナ群が立ち並び、その中でも森のシンボル「あがりこ大王」は、日本一の太さを誇ります。

鳥海山の雪解け水が流れ落ちる「元滝伏流水」。苔の深い緑と水のコントラストが美しい絶景スポットです。鳥海山を眺めながらのトレッキングなら、桑ノ木台湿原がおすすめ。

県民から広く愛されてやまない鳥海山。今も昔も変わらぬ威風堂々たるその姿に、人々の尊敬の念が尽きることはないでしょう。



周辺施設情報



元滝伏流水



獅子ヶ鼻湿原



桑ノ木台湿原



動画で見る



水の豊かな鳥海山では、大小様々な滝を観察することができます。中でも有名なのが、落差57.4メートルをダイナミックに流れ落ちる「法体(ほったい)の滝」。大量の雪解け水や湧き水が流れ落ちる様は圧巻です。

この滝の間近でテントを張ることができるのが、「法体園地キャンプ場」。広い芝生の好きな場所にテントを広げられます。夏には、冷たい水で気持ちよく川遊びができ、秋には、滝と紅葉が織りなす絶景スポットとなります。

家族でゆったり過ごすにはもってこいのキャンプ場です。



INFORMATION

📍 秋田県由利本荘市百宅字奥山

☎ 0184-57-2205 (由利本荘市鳥海総合支所産業課)

🆓 無料

📅 5月上旬～10月下旬

💻 <https://www.akitafan.com/archive/tourism/1914>



祓川キャンプ場



動画で見る



標高2,236メートル。出羽富士とも呼ばれ、全国の登山愛好者にも人気の鳥海山。その5合目、車で登れる終着地点にあるのが、祓川(はらいかわ)キャンプ場。祓川ルートの登山口「矢島口」に近く、登山客のベースキャンプにもなっています。

キャンプ場の標高は1,150メートルで、展望スペースからの眺めは絶景。空気が澄んでいて、明かりが少ないため、夜に空を見上げれば満天の星空が観察できます。

登山に天体観測、思い出に残ること間違いなしのキャンプ場です。



INFORMATION

📍 秋田県由利本荘市矢島町鳥海山五合目祓川 📞 0184-55-4953 (由利本荘市矢島総合支所産業課)

🆓 無料

📅 6月中旬～10月中旬

💻 <https://www.akitafan.com/archive/tourism/1907>



動画で見る



秋田県由利本荘市街から車で2時間。鳥海山の奥地に大清水(おおしず)園地キャンプ場があります。鳥海山4合目、百宅口(ももやけぐち)ルートの拠点となるキャンプ場です。

「おおしず」の呼び名の通り、鳥海山が磨き上げた清流がキャンプ場から湧き出します。

夜になると明かりは一切なく、完全な静寂に包まれます。そこにあるのは大自然と自分だけ。人里から遠く離れたからこそ感じられるキャンプの醍醐味が、ここにはあります。



INFORMATION

📍 由利本荘市鳥海町手代沢国有地内

☎ 0184-57-2205(由利本荘市鳥海総合支所産業課)

🆓 無料

📅 6月上旬～10月下旬

💻 <https://www.akitafan.com/archive/tourism/1913>



三崎公園キャンプ場



動画で見る



三崎公園キャンプ場があるのは、秋田県と山形県のちょうど県境。日本海を目の前にテントを張ることができます。

江戸時代には、俳人・松尾芭蕉が「奥の細道」で歩いたとされ、公園の一角にその跡を見て取ることができます。

夕方になると、海に沈む夕日が眺められるのも日本海沿岸キャンプの魅力。三崎公園の夕日は「日本の夕日百選」にも選ばれています。

夕日を見送ったら、晩ごはん。心地よい波の音と潮の香りに包まれながらゆったりと夜は更けていきます。



INFORMATION

秋田県にかほ市象潟町小砂川字三崎

平日:0184-43-3230(にかほ市商工観光部観光課)
土日・祝日:0184-43-3200(日直室)

1泊・小学生以上300円(日帰り100円)

4月～11月 <https://www.nikaho-kanko.jp/nature/campsite.html>

先輩
キャンパー
からの

お役立ちTips!!

キャンプ初心者、想定外の事態にあわててしまう事もしばしば。
事前に知っておきたいお役立ち情報を、先輩キャンパーに聞いてみました。

海のキャンプ場は風が強いので、
テントが飛ばされないようにペグ
はしっかり地面に刺そう。
秋田は日本海に沈む夕日が見れて
とてもキレイですよ！

山は夜に強く冷え込んだり
天気も変わりやすいので、
寒さと雨対策はしっかり。
晴れていれば、澄んだ空気
で満点の星空が楽しめる！

湖は朝に霧が出て
とても幻想的。大きな
湖では突風にも注意。

テントを張る場所は
自由か指定か、車が
近くまで入れるかな
ど、あらかじめ調べ
ておこう。

寒い日の洗い物では、
ポットにお湯を入れて
持っていくと油污
れも落として便利。

森の中のキャンプ場
は風がさえぎられ、ロー
プを結べたりと便利。
ただし落葉への引火や、
草木を火で焼かない
ように注意。

キャンプ場は夜になると真っ暗！
ライトはしっかり用意しよう。
テント周りを照らす常設用と、
移動時に足元を照らす持ち出し用
の2つは必須！

電波が圏外のキャンプ場
もあるので、オフライン
マップをダウンロードし
ておくと安心！近くのお
店など、あらかじめ調べ
ておこう。

薪はホームセンター等
キャンプ場以外でも購入
できるので、あらかじめ
木材の量や種類を確認
しておくとうれいかも。

朝になると露でテントが濡れて
いる場合も。日光が当たる場所
なら露が湯き、室温も上がります。
曇り前にはしっかり
乾かしましょう。



秋田県生活環境部 自然保護課
〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1番1号
TEL: 018-860-1614